

## 国際英語学部国際英語学科国際英語キャリア専攻 教育課程編成・実施の方針

---

---

国際英語学部国際英語学科では、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を教養教育課程（全学共通科目）と専門教育課程（学部固有科目）で構成し、実施します。

### 《教養教育課程（全学共通科目）》

全学共通科目の卒業要件単位数は、40 です。教養教育課程は、全専攻共通になっています。全学共通科目を中心に様々な科目の中から、自然科学、社会科学、人文科学、語学の各領域を満遍なく目的意識を持って自律的に履修することによって、幅広い教養とともに多面的な思考力、論理的思考力、コミュニケーション能力等を養い、豊かな教養人となるために自己研鑽を継続し、社会の発展に貢献しようとする姿勢を磨きます。

### 《専門教育課程（学部固有科目）》

学部固有科目の卒業要件単位数は、84 です。国際英語キャリア専攻は、専門教育課程を以下のように編成します。

言語に対する体系的理解と高度な英語運用能力を基盤とし、国際ビジネスや教育の分野で必要となる知識や技術を獲得させることで、国際社会のあらゆる局面に対応でき、さらに、高い論理性、倫理性、建設的批判能力を駆使して社会的責任を自覚しつつあらゆる局面に主体的かつ自律的に対応し、国際社会にあって、真に自立しリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的とします。

#### 1. 履修区分に応じて科目群に分類

①必修科目（42単位）はその主たる学修目標に従って以下のように分類されます。

A. 英語運用能力の向上を目的とする科目群

「Oral Communication I～VI」、「Academic Writing I～IV」、「Reading I～IV」、「英文電子文書作成 I・II」、「海外基礎研修」

B. 英語や言葉に対する体系的理解を深めることを目的とする科目群

「国際英語入門」、「英語学概説 I」、「言語システム論 I」、「国際英語キャリア演習 I～VI」

C. キャリア教育を目的とする科目群

「国際キャリア・ディベロップメント」

D. 初年次教育を目的とする科目群

「国際英語キャリア入門演習 I・II」

必修科目においては、英語運用の4技能を満遍なく向上させるため当該の科目を配置するとともに、言語の体系的理解や、職業的能力の向上の基礎となる科目を配置しています。特に、1年次に海外研修を必修化し、英語運用の実際や国際ビジネス等の現状を理解することによって、その後の学修への方向性を確立させるとともに、それへ向けての取り組みを加速させています。

また、初年次教育においては、「国際英語キャリア入門演習 I・II」を核として、すべての授業を通じて高等学校から大学へ円滑な移行を図るとともに、大学での学修が学問的にも社会的にも成果を上げるよう履修指導を含めた総合的の大学リテラシーの指導を行います。また、授業外においてもゼミ担当教員が、随時個別指導を行います。

②選択必修科目（32単位）はその主たる学修目標に従って以下のように分類されます。

A. 英語運用能力の向上を目的とする科目群

「Presentation I～VI」、「英文電子文書作成 III・IV」、「Advanced Discussion I～IV」、「Current English I～IV」

B. 英語や言葉に対する体系的理解を深めることを目的とする科目群

「実用英語運用法 I・II」、「英語音声学 I・II」、「英語学概説 II」、「語形成論」、「英語の歴史 I・II」、「国際社会言語学 I・II」、「英語コミュニケーション論 I・II」、「ことばの意味」、「言語学外書講読 I・II」、「Language Variation」、「Language and Culture」、「言語システム論 II」、「海外研修 A～C」、「交換留学」、「セメスター留学」

C. キャリア形成に資する能力の向上を目的とする科目群

「英語資格 I～III」、「ビジネス英語資格 I～III」、「ビジネス翻訳実務 I・II」、「翻訳と IT I・II」、「通訳演習 I・II」、「国際言語管理」、「ビジネスとアジア英語」、「New Management Trends」、「Global Economic Trends」、「英語科教育法 IA・IB・IIA・IIB」、「早期英語習得論 I・II」、「ツーリズム論 I・II」、「海外業務体験 I～IV」

選択必修科目群においては、必修科目で獲得した技術的・学問的基盤に基づいて、主体

的に科目を選択しつつ、英語運用能力を高度化し、言葉に対する体系的理解をさらに深め、国際的なあらゆる局面に即応できる知識を蓄えることが可能となる科目を配置しています。海外研修を選択必修としているため、結果として、卒業までに最低 2 回の海外研修を課しています。これにより、高度な英語運用能力を確かなものとするとともに、職業人としての活躍の場を世界に求める意識を浸透させています。

## 2. 進路や関心に応じて 3 つの履修モデルを提示

### ① ビジネスキャリアを目指す学生の履修例

演習、講義等の授業のほか、海外研修等での現場体験を通じて、高い英語力を身につけ、その高い英語力を駆使して企業や公的機関で国際的に活躍できる人材の育成を目的とする。

### ② 言語研究者や英語教育専門家を目指す学生の履修例

言語に関する幅広い内容の講義・演習・実習を通じて、英語教員、英語教育研究者・言語研究者の志望者を、理論と実践の両面から育成することを目的とする。

### ③ 通訳者や翻訳者としての専門的活動を目指す学生の履修例

高度な英語運用能力を身につけさせるとともに、海外研修を含む幅広い科目を履修させることによって、通訳者や翻訳者としてフリーランスでも活躍できる人材の育成を目指す。

## 3. 国際英語キャリア専攻固有科目の特色

国際英語キャリア専攻では、高度の英語運用能力と言葉に対する体系的理解を基盤として、国際舞台に即応できる知識を活用して活躍する国際人の育成を目指しています。その専門科目として、英語運用能力、言語科学、キャリア関連の科目を重厚に配置しています。さらに、海外研修を 2 回義務付けることにより、獲得した知識や技術を机上のものにすることなく活用できるまで浸透させています。また、ゼミ指導を 1 年次から開始することによって高等学校から大学への円滑な移行を図るとともに、ネイティブ教員と日本人教員の共同授業、上級生によるチュートリアル等を通じて授業外でも学生の主体的学びを支援する仕組みを整えており、それらを支える施設（PC 教室、自習室等）も完備しています。その一方で、科目群の中での選択に幅を持たせることによって、目的を見失うことなく、自律的に履修ができるカリキュラムとなっており、生涯にわたるキャリア・ディベロップメントを見据えることができます。選択必修の海外研修においても、1 年間の交換留学から短期の研修まで選択できるようになっており、学生のニーズにあった選択が可能となっています。

## 4. 学修成果と科目との関係

### ① 高度な専門的議論や公式文書の作成・翻訳等にも対応可能な高度な言語運用を行えま

す。

「Oral Communication I～VI」、「Academic Writing I～IV」、「Reading I～IV」、「英文電子文書作成 I～IV」、「海外基礎研修」、「Presentation I～VI」、「Advanced Discussion I～IV」、「Current English I～IV」

② 言葉に対する体系的理解や論理思考力を有し、それらを言語使用に活用できます。

「国際英語入門」、「英語学概説 I・II」、「言語システム論 I・II」、「国際英語キャリア入門演習 I・II」、「国際英語キャリア演習 I～VI」、「実用英語運用法 I・II」、「英語音声学 I・II」、「語形成論」、「英語の歴史 I・II」、「国際社会言語学 I・II」、「英語コミュニケーション論 I・II」、「ことばの意味」、「言語学外書講読 I・II」、「Language Variation」、「Language and Culture」、「海外研修 A～C」、「交換留学」、「 Semester 留学」

③ 国際実務や教育に資する知識や技術を有し、それらをあらゆる活動の場に応用できます。

「国際キャリア・ディベロップメント」、「英語資格 I～III」、「ビジネス英語資格 I～III」、「ビジネス翻訳実務 I・II」、「翻訳と IT I・II」、「通訳演習 I・II」、「国際言語管理」、「ビジネスとアジア英語」、「New Management Trends」、「Global Economic Trends」、「英語科教育法 IA・IB・IIA・IIB」、「早期英語習得論 I・II」、「ツーリズム論 I・II」、「海外業務体験 I～IV」